

2011年7月2日(土曜)

レポート by 熊本

レンゲツツジの群生を求めて、過去は甘利山(山梨)、湯の丸山高原(長野)、赤城山等を見てきたが、今回は塩尻にある鉢伏山・高ボッチ高原のレンゲツツジ群生を見に行くことにした。但し、交通の便が悪く、毎日新聞社主催のバスツアー(毎日旅行)を利用することにした。(温泉入浴付で¥7980- 電車利用の半額) 参加者は川島さん、高橋文さん、高橋雄さん、熊本の4名



新宿西口 明治安田生命ビル前に7:10に集合。

曇り空で現地の天気が危ぶまれる。

ツアー参加者は22名とのことで、25人乗りのマイクロバスだった。



ツアーコンダクターの女性とドライバーが迎える。



我々は最後部座席



出発 7：30 の前に参加者が全員集合し、7：25 に出発。何とツアーガイドは男性・女性の一名ずつが着く。三鷹から高速に入り中央道へ。相模湖を通過する頃(8時)はガスが張り出し、霧雨も降り始め展望は効かない。



遠望も効かないのではと、全員熟睡モードに入る。以外と車は少なく、交通渋滞もなく快調にバスは走る。今までの土曜日の中央道は渋滞がありまえだったが、7月から土日 1000 円の割引が廃止となったのでその効果? 甲府付近からの上空は、青空がり陽射しは強い。韮崎付近の双葉 SA でトイレ休憩し(9:10) 塩尻 IC で一般道に出る。(10:01)



塩尻 IC から高ボッチ高原に向かう



高ポッチ高原（1665m）を通り、先の鉢伏山（1929m）に更に標高を約300m上がる。



駐車場のある鉢伏山荘を目の前にして、対向車が一台、一向に動かない。バスの後には後続の車が連なっている。対向車にバックしてもらう必要がある。

対向車から年寄りが降りてきて、バスの運転手などにやら話している。やっと対向車がバックし始めたが、ガードレールに接触、今度は山側の側溝に落ちるなど、どうも運転が良く出来ないので、山道に来たらしい。困ったものだ。



30m走るのに20分掛かってしまいマット駐車場に入れられ、11時に山頂に向かって歩き始められた。



レンゲツツジは今が丁度、満開の見頃であった。
山肌をオレンジ色に染め緑色とのコントラストが美しい。



なだらかな登山道を山頂へ



満開のレンゲツツジ



約 30 分で鉢伏山山頂 (1929m)
へ到着。標識を囲んで記念写真。
(11:30)



山頂、展望台下のベンチで昼食
陽射しが強く、日焼け防止



展望台から俯瞰





レンゲツツジに囲まれて



12:00に下山開始する。
20分程下って、今度は前鉢伏山へ
向かう。



オオヤマフスマ



レンゲツツジが咲く登山道を行く



前鉢伏山への登山道の周辺はレンゲツツジが密集した群生地である。



前鉢伏山(1863m)へ向かう



前鉢伏山（1863m）に立つ。



前鉢伏山の標識を囲んで





レンゲツツジに埋もれて



鉢伏山荘の駐車場に戻る



レンゲツツジの群生



鉢伏山荘の駐車場に戻り(12:45)、

今度は高ポッチ高原へ。

標高 1665mの高ポッチ高原は鉢伏山より標高が 300mほど低く、既にレンゲツツジの最盛期は遠に過ぎてしまっていた。



高ポッチ高原には残念ながら殆どレンゲツツジは見当たらない。



色あせたツツジが・・・



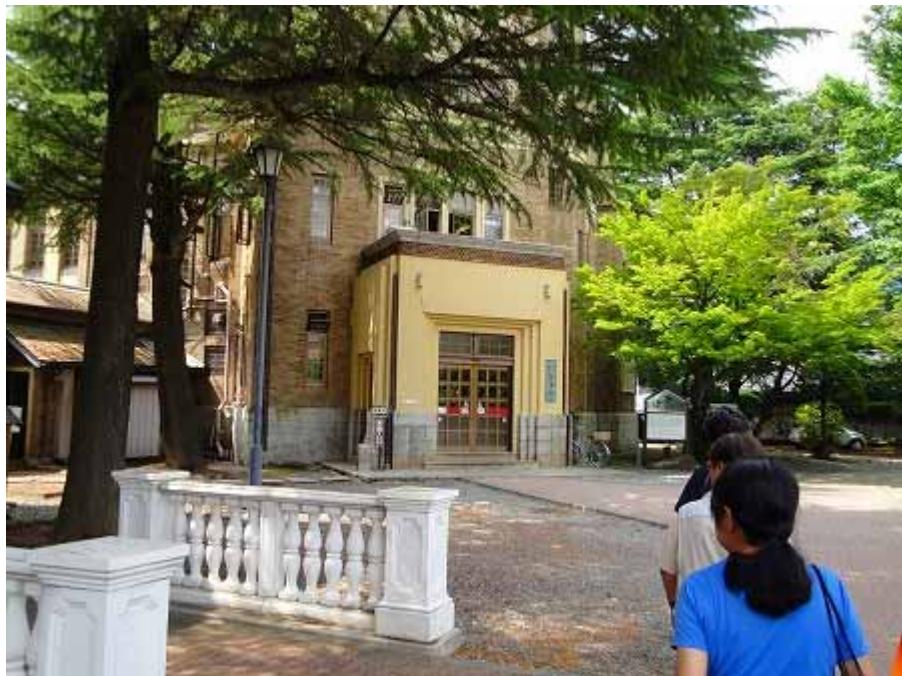
高ボッチ山頂で集合写真



ウマノアシガタ



高ボッチ山頂から諏訪湖の全貌。
10分程でバスに戻り、今回の最後
のイベントは上諏訪の温泉だ。



14:30 帰り温泉「片倉館」に到着。



1時間の入浴休憩があり、30分で「千人風呂」で温泉に浸かり、汗を流して、後は大広間で生ビールで乾杯！

15:30 に温泉を出発し、中央高速に入り、渋滞もなくスムーズに走り、18:20には新宿に到着。

心配した天候も、塩尻、諏訪地方は快晴で申し分なく、鉢伏山のレンゲツツジの群生を堪能しました。

次回は7月16・17日の草津白根山（コマクサ群生）の予定です。